

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード : 120207

基礎看護学実習Ⅱ Basic Nursing Practice Ⅱ

担当教員	中田 弘子 木森 佳子 林 静子 田村 幸恵 田淵 知世 丸岡 直子				
実務経験					
開講年次	2年次通年	単位数	2	授業形態	実習
必修・選択	必修	時間数	90		
Keywords	看護過程の展開 基本的態度				
学習目的・目標	【学習目的】 医療機関で健康障害により入院生活を送っている対象を受け持ち、看護過程を展開する基礎的な能力を習得するとともに、看護職として必要な態度を身につける。【学習目標】 1. 看護に必要な情報をアセスメントし、看護上の問題の明確化、看護計画を立案し、実践できる。 2. 看護過程を通して看護職として必要な態度を身につける。				
授業計画・内容					
	内容				
	1. 日程・内容・場所				
	時期	内容	場所		
	2年次夏期休業期間の内の2週間	事前学習	学内で受け持ち患者の紹介、必要な知識・技術の学習		
		臨地実習	県内の医療機関3施設において2週間の実習を2クールに分けて実施		
		実習のまとめ	同上		
	2. グループ編成 1グループは3～4名程度で編成し、各医療施設（病棟）で実習する。				
	3. 受け持ち対象 健康障害により入院生活を送っている対象1名を受け持つ。				
	4. 具体的な方法				
	1) 入院中の対象の紹介を受ける。				
	2) 看護に必要な情報を収集し、アセスメントする。				
	3) 看護上の問題を明確にし、看護計画を立案、実施する。				
	4) 実施場面を再構成し、対象との相互作用について振り返り評価する。				
	5) カンファレンスを通して、実習体験を意味づけるとともに他の学生と学びを共有する。				
	6) 看護過程を通し、看護の学びを深め、今後の課題を明らかにする。				
教科書	看護専門領域（健康・疾病・障害の理解、看護の基本、看護援助の方法等）のテキスト、授業で配布したプリントを活用する。その他、受け持つ対象者の特性に応じてアセスメントに必要な専門書、看護書を用いる。				
参考図書等	系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院				
評価指標	評価の割合は実習記録を60%、実習態度やカンファレンスへの参加状況等を40%とする。				
関連科目	看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 基礎看護学実習Ⅰ 人間機能学 人間病態学 疾病障害論 臨床薬理学 臨床栄養学 フィジカルアセスメント等				
教員から学生へのメッセージ	対象の健康上の問題を理解するためには、看護分野だけでなく健康・疾病・障害の理解等の授業で学んだ知識の統合が必要です（知的な関心）。また、自己への関心を対象にギアチェンジするためには、相手の視点で考えることが求められます（人間的な関心）。2年生の感じる心、考える力、表現力に期待しています。				